

倉二だより

学校だより

令和2年12月1日

舞鶴市立倉梯第二小学校

少しずつとりもどしている日常と学習！

～コロナ禍でも工夫して学びの充実を～

コロナ禍にあってもどうにか教育活動や行事を充実させることはできないものかと、なかなか終息しないコロナの状況をTVで見ながら考えています。この状況下ですが、11月には舞鶴市小学生駅伝競走大会（無観客、1チームのみ）や、高学年の調理実習、来年度入学予定児童の就学時健康診断、6年ふるさと学習等を実施することができました。また、11月12日(木)には、人権学習と音楽学習発表会を参観していただきありがとうございました。苦肉の策で奇数学年と偶数学年の2部制で実施しましたが、温かい拍手や感想をいっぱいいただくことができ、子どもたちも私たち教職員も充実感が心が満たされました。本当に子どもたちの歌声と一生懸命な姿はいいものです。感動がいっぱいの1日でした。



2学期も残りわずかとなりましたが、感染症の防止に努め、学習のまとめをしていきます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。校長 榎本 ゆかり 教職員一同

校長ひとり言

毎朝の校門での挨拶は全校一人一人の子どもの様子を把握する貴重な時間、目が合う一瞬を大切に声をかけ、絆を深める努力をしています！】

昔に比べて冷房も暖房も必要のない丁度いい気温の春と秋の期間がとて短くなっていると感じているのは私だけでしょうか？『冷房が終わったら、もう暖房。』そう感じるの、もちろん地球温暖化が大きな要因だとは思いますが、きっと年のせいと忍耐力の衰えだと感じています。11月初旬の暖房使用前に各教室のエアコンフィルターと蛍光灯の掃除を行いました。寒くなるとどうしても密になったり、手洗いがおっくうになったりしますが、換気や加湿、うがい・手洗い等しっかり頑張っていきたいと思います。

さて、私は、毎朝校門で、「おはよう。」の挨拶とともに全校児童を迎えています。1学期に比べ2学期は、しっかり挨拶できる児童が増え嬉しく思っています。最初は目も合わさず、返事もせず、逃げるように昇降口に走っていく児童も結構いました。そういう児童には、「おはよう！」「おはようございます！」と毎日毎日、何度も何度も、根気よく声をかけます。そのうちチラッとこっちを向いてくれるようになり、しばらくすると「おはよう。」と返してくれるようになります。毎日真っ赤に紅葉したもみじの葉をプレゼントしてくれる子も出てきました。この嬉しい変化の一瞬を見逃さず、嬉しい！大好き！の気持ちがいっぱい詰まった「おはよう！」を笑顔とともにもう一度返します。こうなればしめたものです。

また、全校の手本になるような素晴らしい挨拶の児童や登校班もあり、「凄い！」「嬉しい！」「全校で一番！」と周りに聞こえるように褒めています。今やその喜びが爆発して、校門の20m程手前から元気な声で挨拶し、「どう、いい感じでしょ。」とアピールしてくる班もあります。これが低学年だけだと寂しいのですが、6年生でもしっかり頑張ってくれる児童がいることが嬉しいです。「まだまだ伸びるぞ倉二っ子。かわいいな。」と感じる瞬間です。そして、こっちの方が元気をもらっています。

もう1つ校長として常に心がけていることは・・・何かよくないことがあった時（友達とのトラブルやけが、器物破損等）に、後で担任から報告を受けるのではなく、できるだけその日のうちに校長室で、私も児童に直接事情を聞いたり指導したりさせてもらっています。校長室に入るなんて恐ろしく緊張するだろうと思いきや、今から事情説明と謝罪が待っているのに、明るく元気に入ってくる児童も少なくありません。これでは反省も十分とは言えず、相手にも心からの謝罪の気持ちは伝わりません。だから、時には声を荒げて叱ります。又、涙ながらに丁寧に話をします。「叱るのも勇気がいるんだよ。君に嫌われちゃうかも知れないでしょ。校長先生怖ーい。ってね。その辛い気持ちと闘って叱ってるんだよ。」「じゃあなぜこんなに真剣に叱るのかって？」「君にもお家の人にも、二度とこんな悲しい思いをさせたくないから。」そして最後に、「校長先生は君を信じてる！君なら、きっとここからぐんぐん賢く優しくなっていく。」「明日から毎日見ているよ。ずっと見ているよ。できたら褒めるから。だから君も約束して。頑張るよという言葉の代わりに、毎日おはようの挨拶を必ず返してね。校長先生との約束だよ！」と。褒めるのも叱るのも真心こめて一生懸命に！「大好きだから真剣なんだよ。」の気持ちを込めて！

挨拶を通して、誰かとつながっているという温かい気持ちや、信じ合うという信頼関係と絆でつながり自分から挨拶ができる児童でいっぱいの倉梯第二小学校になるように、これからも頑張ります。また、朝の一瞬の出会いで、「今日はいつもと違うな。何かあったのかな。」と気付く教師でありたいとも思っています。保護者・地域の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。（保護者・地域の皆様にも自分から挨拶ができることを願って頑張ります。いつも見守りありがとうございます。）

学習参観日 11月12日(木) 音楽学習発表会(2部制で実施)

2学期になってから、運動会の練習と並行して音楽学習発表会に向けての練習を少しずつ積み重ねてきました。本格的な練習が始まったのは運動会が終わってからです。音楽室や教室、体育館などからは、子どもたちの美しい歌声が響いたり、リコーダーや鍵盤ハーモニカの音が鳴り響いたり一生懸命練習する様子が職員室にも伝わってきました。歌でも、合奏でも自分の持ち場やパートを全うし、友達と心を合わせて一つのものを作りあげることに楽しさや喜びを感じていたのではないのでしょうか。音楽学習発表会には、保護者の皆様に多数お越しいただき、音楽の学習の成果を発表する児童の姿を見ていただきました。会場の皆様には、子どもたちが音楽に親しむ姿、ひたむきに取り組む姿勢が伝わり、温かい拍手をいただきました。それによって子どもたちは満足感と感動を味わうことができました。保護者の皆様のご理解とご協力を得て、このような発表の場を持つことができたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



人権学習

人権月間の一環として、学年の発達段階や実態を踏まえて人権学習を実施し、参観をしていただきました。作品や教材を通して、「おかしい」と気付く力、行動を起こす力、自分や友達を大切にすること、コミュニケーションの方法、正しい人権の認識などを学んだり、身に付けたりしました。月間が終了しても、人権については日常的に指導していきます。

【各学年の学習内容】 さくらんぼ「はしのうへのオオカミ」 1年「たろうのともだち」
2年「あしなが」 3年「わたしメッセージ」 4年「友達」 5年「メディアリテラシー」
6年「あなたならどうする？」

PUSHプロジェクト 11月26日(木) ～心肺蘇生法について学びました～



PUSHプロジェクトは、心肺蘇生の中でもっとも重要な胸骨圧迫とAEDの使い方を多くの方に学んでもらうことで、突然倒れた方の救命率向上を目指す目的があります。また学校においても心肺蘇生教育の実施をすることで「いのちを大切にすところ」をはぐくむという目的があります。5年生が、東消防署の方に指導を受け、心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の使い方を学び、「自分ごと」としてとらえ、もしもの時に行動できる力を身に付けるための学習を行いました。

秋のわくわくフェスティバル 11月19日(木)



生活科の学習で、ひばり幼稚園と森の子ら幼稚園の年長組の皆さんを2年生が招待して、「秋のわくわくフェスティバル」を開きました。保育や幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るために、幼児と児童との交流が重視されています。2年生の子どもたちは、生活科の時間に内容を考えたり、協力して準備をしたりした遊びのコーナーを幼稚園の子どもたちに体験してもらいました。2年生の子どもたちは、遊びのコーナーで、楽しんでもらえるように一つ一つ丁寧に説明をしたり、できるように優しく声をかけたりしていました。今後も校区の幼稚園との交流や連携を大切にしていきたいと考えています。



6年生ふるさと学習 11月20日(金)

6年生が引揚記念館、赤れんが博物館を訪れて、史実からふるさと舞鶴の果たした役割や平和への祈りについて学びを深めました。田辺城資料館にも行き、戦国時代や明治維新の歴史についても体験的に学びました。事前に引揚記念館の学芸員さんにもお越しいただき、お話をうかがいました。学習を通じて、学びを未来へつなげる役割を担ったり、地域の歴史への誇りと愛着を持ったりしてほしいと願っています。



青葉中学校区一斉あいさつ運動 11月13日(金)

ご自宅の近くなどであいさつをお世話になった方々、各地域で声かけやあいさつをしていただきました倉二パトロール隊の方々には大変お世話になりました。また校門には、PTA本部役員様に立っていただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。今後ともご協力をお願いいたします。

校内マラソン大会～自分の目標に向かってがんばりました～10月28日(水)於:東舞鶴公園



東舞鶴公園とその周辺コースで、「校内マラソン大会」を実施しました。体育の授業や休み時間の「ふれあいマラソン」などで継続して練習に取り組み、当日を迎えました。この日は爽やかな秋晴れで、走っていると汗ばむくらいの天候になりました。沿道の皆様の見守りや応援を受け、額に汗を光らせながら一生懸命走りました。厳しい登り坂のあるコースですが、力をふりしぼって駆け抜ける子どもたちの姿はとてすばらしかったです。ご多用の中、走路監視員をお世話になった皆様には、子どもたちの安全に配慮しながら、誘導や応援をしていただきました。子どもたちにとってとても大きなパワーになりました。行事に際して、いつもいろいろとご協力いただき、本当にありがとうございます。また、マスク着用や応援の仕方、運動場や児童待機場所への進入の制限など、感染対策にご協力いただいたことに感謝申しあげます。練習時から大会当日まで、目標を持ち、苦しいことにチャレンジし、やり切った達成感を今後の学校生活において、生かしてほしいと願っています。



<結果>

ホームページでは掲載しません

舞鶴市小学生駅伝競走大会 11月7日(土) 於: グリーンスポーツセンター



「舞鶴市小学生駅伝競走大会」が今年度は、規模を縮小し各校1チーム、無観客、学校職員の動員人数を制限するなど、感染対策を取った上での実施となりました。

本校からは5・6年生の8名が出場し、力走を見せました。個人の目標とチームの目標をしっかりと持ち、みんなで声をかけ合いながら放課後の短い時間にこつこつと練習を積み重ねてきました。駅伝競走ができること、出場できることの重みをしっかりと受け止め、一人一人が熱い気持ちをたすきに込めて走りました。少しでも早くたすきを渡そう、友達の分を自分が取り戻そうと、みんなが心一つにして頑張り、6位入賞を果たしました。タイムトライアルに参加した児童も精一杯がんばりました。また大会には出場していませんが、自分の目標を持ち、練習を一生懸命取り組んだ子どもたちにも大きな拍手を贈りたいと思います。



ホームページでは掲載しません

がんばる倉二っ子 <入賞者の紹介>

第21回絵で伝えよう「わたしの町のたからもの」絵画展

優良賞 5年 「樹齢1200年の大関ケヤキ」

第9回「子ども読書本のしおりコンテスト」

佳作 2年 「スイミー」

第50回京都新聞「お話を絵にする」コンクール

入選 1年

佳作 1年

佳作 1年

佳作 1年

※ まだ賞状が届いていないものは届き次第、表彰を行います。

